



5月29日(金)から 新しい防災気象情報の運用が始まります

気象庁は、現在の警報や注意報などの防災気象情報を改善し、新しい運用を開始すると発表しました。この変更は災害時に「いつ・どのように行動すればよいか」を、より分かりやすく伝えるためのものです。情報名称などが大きく変わるため、いざというときの行動に役立ててください。

新しい防災気象情報の体系とその名称

	河川氾濫 1級河川などの大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ崩れや土石流	高潮 海水面上昇や波の打上げによる浸水	(警戒レベルごとの) 住民がとるべき行動
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保！
<警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難！>					
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から 全員避難
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は 早めに避難、避難の準備など
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認（避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど）
警戒レベル 1	早期注意情報				災害への心構えを高める

■主な変更点

- ・防災気象情報（河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮）を5段階の警戒レベルに合わせて発表
- ・対象災害ごとの情報として整理し、レベル4相当の情報として危険警報を新設
- ・情報そのものにレベルの数字を付けて発表（例：レベル4大雨危険警報 など）



▲詳細

☎地域防災課 989-5505